

患者さんのための情報

自宅で安全な化学療法剤（抗がん剤）の取り扱い

Warren Grand Magnuson Clinical Center, National Institute of Health

http://www.cc.nih.gov/ccc/patient_education/pepubs/handchemo.pdf

この情報はご自宅で安全に抗がん剤の取り扱いを行うためのものです。

これらを安全に取り扱うことにより、皆様自身や皆様方がお住まいの環境をこれらの薬剤による曝露（汚染）を軽減することが出来ます。

抗がん剤の取り扱い

- ・ 抗がん剤を取り扱う前後には手を洗ってください。
- ・ （血管や筋肉に投与する）抗がん剤を取り扱う際には、使い捨ての（薄い）ゴム製の手袋を着用してください。内服する薬剤には、素手で触れないように気をつけてください。内服する薬剤の中には手袋の着用が必要なものが多いです。手袋を着用しなければならない薬剤はあなたの看護師がそのことをお知らせします。
- ・ 破れたまた穴のあいた手袋は使用しないでください。
- ・ 使い終わったら、特別に印を付けた抗がん剤廃棄用のバックに捨ててください。
- ・ ポンプや注射のチューブを変えるときや抗がん剤を取り扱うときには作業する場所に底がプラスチックで出来ている吸収するパッドを置いてください。
- ・ 点滴の接合部位が問題ないかどうかを定期的にチェックしてください。

抗がん剤の保管

- ・ お子さんやペットの手の届かないところに保管して下さい。
- ・ 薬剤を冷蔵しなければならない場合には、冷凍庫の中や近く（チルドルームなど）に置かないようにして、密閉できる容器を使用、または専用容器に入れるなど、他の食物と離して下さい。
- ・ あなたの看護師が特別な保管方法についてお話しするでしょう。

抗がん剤を思わずこぼした場合

- ・ 少量（小さじ1杯より少量）の場合にはこぼれた薬剤を直ちにふき取る。両手にゴム製の手袋をはめ、ガーゼでこぼれた薬剤をふき取り、その後、その場所を石けんと水で3回拭き、きれいにする。
- ・ 大量の場合、説明書に従って処理して下さい。こぼした箇所を3回拭き、きれいにし、ガーゼ製のパッドを特別に印した抗がん剤廃棄用のバックに捨てて下さい。すぐに、薬剤が付いた衣類は脱いで下さい。
- ・ 抗がん剤が付いたりネン（シーツや寝間着を含む）や衣類を取り扱う時には、素手で抗がん剤が付いた部分に触れないで下さい。両手にゴム製の手袋をはめ、リネンを直ちに洗濯機に入れて下さい。他の洗濯物とは分けてこれらをお湯で洗って下さい。すぐに洗

えないときには、密閉したプラスチックバックに洗うことができるまでいれておいて下さい。

思わず飛び散ったときの皮膚のケア

- ・皮膚にこぼれた抗がん剤は皮膚刺激の原因になることがあります。石けんや水で全体を洗った後、その部分を乾燥させて下さい。その後7日間は、抗がん剤が付着した皮膚をよく観察して下さい。その部分が赤くなったり、ヒリヒリするようなら、医師に連絡して下さい。
- ・薬剤が目に入ったときには、少なくとも5分間水道の蛇口からの水で洗い流して下さい。その後、医師に連絡して下さい。

抗がん剤投与をしているときの排泄物の廃棄

- ・通常はトイレを使用してもよいと思います。トイレの後は石けんと水で両手をよく洗って下さい。
- ・抗がん剤投与を受けている人の血液、尿、便、吐物を取り扱う時には、全ての介護者は、ゴーグルをつけなければなりません。排泄物の処理を器具で行った後には、両手と使用した器具を石けんと水でよく洗って下さい。
- ・看護や介護にあたる人たちは、投与2日間はグローブをつけて介護にあたります。
- ・おしめは、廃棄用の密閉できる（zip-lock）プラスチックバックに置くべきであり、抗がん剤を受けた2日間はそうして下さい。

抗がん剤投与器具の廃棄

- ・抗がん剤の投与や調製に使用した器具は全て、特別に印を付けた抗がん剤廃棄用のバックに片づけて下さい。
- ・ゴムバンドや zip-lock のような密閉できるもので、廃棄用のバックを封をし、それらのバックに入れたままを病院に戻して下さい。